

令和5年度 益子町立田野中学校 学校評価報告書（概要版）

教育目標	○自ら学ぶ生徒 ○思いやりのある生徒 ○進んで鍛える生徒	今年度の重点目標	生徒一人一人の夢や思いを大切にし、確かな学力、 勁さと思いやり、そして健康的で安全な学校文化の創 造を地域社会との連携・協働で目指す。 【重点ワード】 人間力の基礎・基盤をつくる 「時を守り 場を清め 礼を正す」	1 「授業第一主義」で、確かな学力を育むための学習指導の充実 2 豊かな心を育てる教育の充実 3 危機管理意識の高揚と基本的生活習慣の確立 4 未来展望に基づいた自主・自立の精神と勁い心身の育成 5 地域社会と連携・協働で行う教育活動の推進（コミュニティスクールの推進）	達成度	アンケート・教職員評価の 肯定的意見 A・・・80%以上 B・・・60%以上80%未満 C・・・40%以上60%未満 D・・・40%未満

学校自己評価				学校運営協議会評価			令和6年度に向けた改善策
現状と学校評価実施計画				達成状況			
重点	生徒の現状と課題	評価項目（主な方策）	評価指標	アンケート		達成状況と課題	
				生徒	保護者		
1	全体的に既習内容や基礎・基本の定着が課題である。導入の工夫や授業の改善により、学力の底上げが必要である。	基礎・基本の定着を図り、めあての提示や導入の工夫をし、分かる授業を目指した指導法の工夫・改善を図る。	生徒・保護者のアンケート結果参考にした教職員評価	A	B	A	【全体】 ・生徒による評価は全体的に高い傾向が見られるが、保護者による評価で下がっている項目があるため、要因の分析が必要である。 ・基礎・基本の定着や家庭学習の充実を図るためには、学校・家庭・地域の連携が重要である。 ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け、授業における「話し合い活動」の充実を図る必要がある。 ・授業における使用だけでなく、家庭学習においても、タブレット端末を効果的に活用していくことが考えられる。 ・教職員と生徒の信頼関係が構築されており、落ち着いた学校生活の様子がうかがえる。 ・「生徒の危機回避能力の育成」に関する項目について、生徒の評価と保護者の評価との差が開いたことについて、分析する必要がある。 ・ネットによるトラブル等が心配される時代であるため、日頃から使用の仕方などの指導が必要である。
		授業では、生徒に深く考えさせる場面を設ける。		A	A	A	
		生徒一人一人の家庭学習の状況を把握し、自らの課題を克服できるよう助言する。		A	B	A	
2	小学校からの友人関係が固定化している。互いを尊重し認め合う活動を進めている。 学校行事や体験活動などを通し、互いを思いやる機会を設ける必要がある。	生徒が互いの個性を尊重し、言葉遣いや振る舞いに注意し、思いやりに溢れた学級・学校づくりに取り組む。	生徒・保護者のアンケート結果参考にした教職員評価	A	B	A	【全体】「主体的・対話的・深い学び」の実現と、粘り強くやり抜く力の育成に努める。 「めあて」や導入の工夫により、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。 教科の特性に応じた「話し合い活動」を計画的に実施する。 個々の課題に応じた指導・助言を充実させるとともに、家庭学習におけるタブレット端末の活用を図る。 互いの人権尊重の精神を養うよう、学業指導の充実を図り、帰属意識の高い学級づくりに努める。 道徳授業の充実を図り、道徳的実践力を高める指導の工夫を図る。 生徒に寄り添い、悩みや問題行動の解消に向けて、組織的支援の充実を図る。 各種便りやホームページを活用し、避難訓練の実施状況に関する情報を保護者や地域に向けて発信する。 学校・地域の連携により、交通安全教室・立哨指導・校外巡視などを今後も継続する。 日頃の健康意識を高める指導を充実させる。 各教活動において、キャリア教育の充実を図り、将来について深く考える機会を設ける。 生徒が主体的に活動できる活動の場を設置し、達成感を実感させる。 部活動の活動内容の改善・充実を図るとともに、益子町全体の方向性を踏まえ、部活動の地域移行について検討していく。 学校・家庭、栄養教諭と連携して、食育指導に継続的に取り組む。 一斉メール配信等の活用を図るとともに、ホームページによる情報発信の内容を工夫する。 家庭・地域の協力を得て、学校とのつながりを大切にした活動の充実を図る。
		道徳の授業では、自分の内面に向き合い、思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりし、多面的・多角的に学べるように工夫する。		A	A	A	
		生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行う。		A	B	A	
3	学校内外のルールやマナーを守っている。 校内では、予告なしで避難訓練を実施するなど、危機回避能力を身に付けている。	避難訓練等を通して、生徒の危機回避能力の育成に努める。	生徒・保護者のアンケート結果参考にした教職員評価	A	C	A	【全体】「主体的・対話的・深い学び」の実現と、粘り強くやり抜く力の育成に努める。 「めあて」や導入の工夫により、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。 教科の特性に応じた「話し合い活動」を計画的に実施する。 個々の課題に応じた指導・助言を充実させるとともに、家庭学習におけるタブレット端末の活用を図る。 互いの人権尊重の精神を養うよう、学業指導の充実を図り、帰属意識の高い学級づくりに努める。 道徳授業の充実を図り、道徳的実践力を高める指導の工夫を図る。 生徒に寄り添い、悩みや問題行動の解消に向けて、組織的支援の充実を図る。 各種便りやホームページを活用し、避難訓練の実施状況に関する情報を保護者や地域に向けて発信する。 学校・地域の連携により、交通安全教室・立哨指導・校外巡視などを今後も継続する。 日頃の健康意識を高める指導を充実させる。 各教活動において、キャリア教育の充実を図り、将来について深く考える機会を設ける。 生徒が主体的に活動できる活動の場を設置し、達成感を実感させる。 部活動の活動内容の改善・充実を図るとともに、益子町全体の方向性を踏まえ、部活動の地域移行について検討していく。 学校・家庭、栄養教諭と連携して、食育指導に継続的に取り組む。 一斉メール配信等の活用を図るとともに、ホームページによる情報発信の内容を工夫する。 家庭・地域の協力を得て、学校とのつながりを大切にした活動の充実を図る。
		安心・安全で、規律ある学校生活が送れるよう指導する。		A	A	A	
		感染症対策を含め健康的な生活が送れるよう指導・支援する。		A	A	A	
4	行事や部活動等には、主体的に粘り強く取り組んでいる。 将来に対する明確な夢や希望が漠然としている。自己理解を深め、将来を展望できるよう、教育活動においてキャリア教育を充実させる必要がある。	将来のことを考え、夢や希望をもつことができるようキャリア教育を推進する。	生徒・保護者のアンケート結果参考にした教職員評価	A	A	A	【全体】「主体的・対話的・深い学び」の実現と、粘り強くやり抜く力の育成に努める。 「めあて」や導入の工夫により、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。 教科の特性に応じた「話し合い活動」を計画的に実施する。 個々の課題に応じた指導・助言を充実させるとともに、家庭学習におけるタブレット端末の活用を図る。 互いの人権尊重の精神を養うよう、学業指導の充実を図り、帰属意識の高い学級づくりに努める。 道徳授業の充実を図り、道徳的実践力を高める指導の工夫を図る。 生徒に寄り添い、悩みや問題行動の解消に向けて、組織的支援の充実を図る。 各種便りやホームページを活用し、避難訓練の実施状況に関する情報を保護者や地域に向けて発信する。 学校・地域の連携により、交通安全教室・立哨指導・校外巡視などを今後も継続する。 日頃の健康意識を高める指導を充実させる。 各教活動において、キャリア教育の充実を図り、将来について深く考える機会を設ける。 生徒が主体的に活動できる活動の場を設置し、達成感を実感させる。 部活動の活動内容の改善・充実を図るとともに、益子町全体の方向性を踏まえ、部活動の地域移行について検討していく。 学校・家庭、栄養教諭と連携して、食育指導に継続的に取り組む。 一斉メール配信等の活用を図るとともに、ホームページによる情報発信の内容を工夫する。 家庭・地域の協力を得て、学校とのつながりを大切にした活動の充実を図る。
		学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動できるようサポートする。		A	A	A	
		部活動を中心に、粘り強くやり通す勁い心身を育む。		A	A	A	
		食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができるよう指導する。		A	A	A	
5	ホームページや一斉メール等を活用し、情報を発信している。地域とともにある学校づくりの発展のために理解・協力を求めていく必要がある。	地域・保護者に対し、たよりやホームページ等を活用し、積極的に情報を発信する。	生徒・保護者のアンケート結果参考にした教職員評価	A	B	A	【全体】「主体的・対話的・深い学び」の実現と、粘り強くやり抜く力の育成に努める。 「めあて」や導入の工夫により、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。 教科の特性に応じた「話し合い活動」を計画的に実施する。 個々の課題に応じた指導・助言を充実させるとともに、家庭学習におけるタブレット端末の活用を図る。 互いの人権尊重の精神を養うよう、学業指導の充実を図り、帰属意識の高い学級づくりに努める。 道徳授業の充実を図り、道徳的実践力を高める指導の工夫を図る。 生徒に寄り添い、悩みや問題行動の解消に向けて、組織的支援の充実を図る。 各種便りやホームページを活用し、避難訓練の実施状況に関する情報を保護者や地域に向けて発信する。 学校・地域の連携により、交通安全教室・立哨指導・校外巡視などを今後も継続する。 日頃の健康意識を高める指導を充実させる。 各教活動において、キャリア教育の充実を図り、将来について深く考える機会を設ける。 生徒が主体的に活動できる活動の場を設置し、達成感を実感させる。 部活動の活動内容の改善・充実を図るとともに、益子町全体の方向性を踏まえ、部活動の地域移行について検討していく。 学校・家庭、栄養教諭と連携して、食育指導に継続的に取り組む。 一斉メール配信等の活用を図るとともに、ホームページによる情報発信の内容を工夫する。 家庭・地域の協力を得て、学校とのつながりを大切にした活動の充実を図る。
		地域の人材や資源を活用し、地域とのつながりを大切にする。		A	A	A	